

第七回 幹事会 報告

第七回幹事会が、昭和57年5月13日(木)午後6時にコミュニティにおいて開かれました。
出席者は、幹事長の本多氏(交通分)、児玉氏(研修会)、長村氏(談話会)、加藤氏(水分)、萬匠氏(住分)、稲葉氏(緑分)、村松氏(総務)、井橋氏(会計)、中田君(広報)の9名で、以下に決定事項を簡単に報告します。なお、次回は7月15日(木)の予定です。

一、総会について

都合により、会場が職員会館から県民会館に変更し、そして式次第が次のように決定されました。

I. 第3回総会(午後2時〜5時)

1. 開会の辞(総合司会：長村氏に依頼)
2. 会長挨拶
3. 活動報告(幹事長)
4. 新入会員紹介
休・退会会員報告(幹事長)
5. 議決事項(幹事長・会計)
 - (1) 規約改正の件
 - (2) 第2期末報告
 - (3) 役員改選の件
 - (4) 第3期予算案

II. 分科会報告(二〇分発表、一〇分質疑応答)

1. 交通分科会
2. 水分科会
3. 住分科会
4. 緑分科会

III. 閉会の辞(副会長)

IV. 懇親会(午後5時より)

機関誌第二号校正について
表紙デザイン決定：部数五百冊
なお、当日広田氏(住分)、稲葉氏(緑分)、井橋氏(交通分)、中田君(水分)らによって校正が行なわれる。

三、研修会について

研修会に関する意見アンケートを総会当日行なう予定。談話会について

前号では5月中旬に行なう予定とお知らせしましたが、都合により下記案内のように変更いたしました。

第19回 理論研究会報告

昭和57年5月11日(火)午後6時

コミュニティー

出席者：児玉、長村、加藤、稲葉、杉本、前川、岸本、中田

珍らしく皆勤黨の本多氏が都合により欠席。今回の発表者である岸本君と中田君は、質屋鷹の異名をとる本多氏の欠席にラッキーといった面持ち。
まず第6章の岸本君は、経済分析のニフの道具ということで供給と需要について発表。討論者の中田君が「報酬連減の法則は、世界の食料が植木鉢の中で栽培されることを否定している。」(本文96ページ)という文章がわからないと質問。児玉、加藤、岸本の三国同盟によりただちに問題解決。しかし同盟の内紛からか図6-9の説明を次回までの課題とされ岸本君がツクリ。
第7章は中田君が、市場機構によらない方法—費用・便益分析—について発表。この章は、割とわかりやすかったため質問はなし。ただ質問が予想された図7-4について、中田君が解いてきた説明式が一般式ではないと加藤氏からクレームがつき、これも次回の課題となる。(学生会員にとっては厄日でした。)

次回は、6月10日(木)の予定です。

第五回 談話会 御案内

前号では5月中旬に行なう予定と書きましたが、諸事情により左記のように行なうことになりました。会員の皆様、ふるって参加下さるようお願いいたします。

日時：昭和57年6月16日(水) 午後6時〜8時

場所：福井県職員会館二〇五号室
(〒910-0761 福井市三ノ宮)

報告者：福井医科大学教授
R.E.F.顧問

今野 修平氏(上海レポート)

分 科 会 だ よ り

活動ナシ



REF 第2号の原稿締切りに追われていた同分科会は、それも何とか終え、今は休養期間といったところ。大部のゴタゴタはまだ解決していないようですが6月からは新入会員を加え新たなスタートを切る模様。なお次回は6月下旬に行なう予定です。

一 土地利用分科会 一 会員大募集!!

新たに発足した土地利用分科会は、来たる6月24日(木)に第1回活動を福井大学交通研究室で行なう予定です。興味・関心のある会員諸氏はふるって御参加を!

5月27日(木)

コミュニティー



緑分科会と同様、最後まで原稿締切りに追われていた同分科会は、やっと一段落ついたという感じ。
同日は、総会における分科会活動報告の打ち合わせを行なう。新戦力の加入を望めない同分科会は、メンバーの結束を新たに。第3期活動へ向けてスタートを切る。

次回は、6月15日(火)の予定です。

5月25日(火)

米五ろ階会議室



福井県と福井市によって現在、「河川と水害に対するアンケート調査」が行なわれており、同分科会は第3期活動のネタとして、このアンケート調査を採用。それに伴うスケジュールを以下のように決定!(交通分科会に負けてはいられない)
6月 多変量解析とアンケートの(加藤) 集計(分析)方法について(加藤)
8月) 計算(中田)
9月) 計算(長村)
10月) まとめ(加藤)
11月) (総務)

次回は、6月29日(火)の予定です。

5月27日(木)

福井大学交通研究室



早いのがとりえ(決して内容が伴わないという意味ではない)の同分科会は、まず1章担当の前川氏によって、佐賀市における長崎本線立体化の事例が述べられ、それを全員で議論検討。また、国鉄筑肥線立体化の調査報告書が入ってきたので、これを参考に今後の研究方向、フレームワークを確認した。
次回は、岸本君のメッシュ解析の方法論についての検討と各章担当者が持ちよるデータについての検討を行なう予定です。

次回は、6月29日(火)の予定です。

第三回 総会 開催される

前号でもお知らせしたように、昭和56年度活動を集約し、次期活動計画を討議する第三回REEF総会が、6月5日(出午)後2時から県民会館で開催されました。
総会司会を依頼した長村氏の開会の辞で始まり、会長挨拶、幹事長本多氏の活動報告、新入会員の紹介、総務村松氏の休会・退会会員報告に続いて、議決事項4件が提案され、承認されました。(以下にその内容を記載)

ついで各分科会から活動報告が行なわれました。交通分科会は、前川氏・井嶋氏・岸本君のトリオが発表、水分科会は分科会長の加藤氏と広部氏が発表、住分科会は広瀬(健)氏・広田氏・萬匠氏の3氏が、緑分科会は近藤氏が発表。それぞれ報告について若発な質疑応答がなされ、研究内容の濃さがうかがわれました。

新副会長北嶋氏の開会の辞の後、午後5時から約2時間、懇親会が催され楽しい歓談のひとときがもたれました。
なお同日、研修会の方からアンケートがなされ、以下のような集計結果が出ました。

「議決事項」…全て可決しました。

・案件1 規約改正案

第4章 役員・顧問 → 役員

第9条 本会に顧問を → 顧問 参与を

顧問は → 顧問 参与は

・案件3 第3期役員案(敬称略)

顧問 五十嵐直雄・栗田幸雄・今野修平

参与 畠永 六郎

会長 畠田 伊太郎

副会長 本多 善明・北嶋 重昭

幹事長 本多 善明(交通分科会長)

幹事 長村 一男(水分科会長)

萬匠 親臣男(住分科会長)

近藤 忠(土地利用分科会長・研修会)

近藤 幸次(緑分科会長)

加藤 哲男(談話会・広報)

前川 政人(理論研究会)

村松 俊明(総務)

井嶋 積(会計)

広瀬 広一(監査)

中田 景文(広報)

研修会アンケート集計結果

1. 所属(略)

2. 海外研修と国内研修について

是非、海外研修を(7名) *国内研修でも可(17名) 国内研修で十分(1名)

3. 海外研修の場合

3-1 候補地

韓国(2名) フィリピン(5名) ヨーロッパ(4名)
台湾(4名) *シンガポール(8名) アメリカ(2名)
中国(4名) インド(1名) オーストラリア(6名)

3-2 費用

10万円以内(3名) *10~15万円(10名) 15万円以上(5名)

3-3 期間

3日以内(2名) *3~5日(10名) 5~7日(8名) 7日以上(2名)

3-4 時期

1月(4名) 2月(2名) 3月(3名) 4月(1名)
5月(1名) 6月(2名) 7月(11名) *8月(12名)
9月(2名) 10月(1名) 11月(3名) 12月(1名)

4. 国内研修の場合 — 秋田・北海道など…

第3期予算案(案件4)

収入	
前期繰越金	110,206
会費	369,000
前期未納分	148,000
	627,206

支出	
分科会助成費	50,000
理論研	10,000
談話会	40,000
研修会	10,000
通信連絡費	5,000
総会費	23,000
報告書印刷費	450,000
雑費	10,000
雑子備費	29,206
	627,206

第2期決算報告(案件2)

収入	
前期繰越金	86,822
会費	362,000
総会費	27,000
雑収入	3,526
	479,348

支出	
分科会助成費	40,000
理論研	10,000
談話会	20,193
研修会	20,000
交流会費	20,000
報告書印刷費	180,000
第一期総会費	61,619
雑費	17,330
次期繰越金	110,206
	479,348

会計・監査印

第五回 談話会 開催!

前号でもお知らせしたように、第五回談話会が昭和57年6月16日(水)午後6時から約2時間、福井県職員会館二〇五号室で開催されました。
今回は福井医科大学教授で、REEF顧問でもある今野修平氏が、今年3月に、「上海経済圏視察団」に参加し、上海を訪問した時の様子を報告していただきました。(以下にその内容を要約して、記載いたしました。)

なお参加者は、第三回の17名を大隅に上回る過去最高の32名で会場では身動きがとれない程の盛況でした。またこの中には、REEF顧問の栗田幸雄副知事の姿もみられ、REEF活動の活発ぶりを見ていただきました。(REEF会員の参加者は以下のとおりです。敬称略)

本多・北嶋・長村・栗田・畠田・加藤・村松・近藤・塚本・広田・福葉・杉原・杉森・奥居・平野・川村・杉本・井嶋・岸本・中田・浅井・北本

〔上海レポート〕

上海の人口は一千万人を越え、東京・ニューヨークと並び世界有数の大都市となっているが、その都市集積からみると、日本では京都ぐらいの都市規模であるというのが同氏の感想。

経済の点からみると、上海をはじめとして中国の諸都市は、人民公社を軸とした「政経合一」という考え方を基本としているため、経済発展は望めないだろうというところですが、それで経済発展のためには、政経合一を捨て、新しい上海経済圏というものを確立しなすればならないというのが同氏の意見。

交通の点からみると、住工混在(工場に最も近い住宅を割り当てられる)という形態をとっているため、都市交通発生原単位が少なく、あまり問題とはなっていないようである。例えば信号は、自動車が少ないために市内の10ヶ所ぐらいにしか設置されていないとのこと。しかし人間が多いために、バスのピーク時はなく、いつも満員だそうである。(へえーという声)

総体的にみて、上海の都市計画を考えると、長江を基幹交通(水運)として利用するのが望ましいということ。経済発展を期待するにはぜひ、政経合一という考えを改めなければならぬということでした。

(広報部情報局より)

TOPICS

第20回 理論研究会報告

昭和57年6月10日(木)午後6時：コミュニティー

出席者…本多・長村・児玉・加藤・村松・前川・杉本・岸本・中田

同日はまず、2回持ち越しとなっていた村松氏が第4章の「経済成長の意味」について発表。かなり間があいたために同氏も他のメンバーも、テキストのあっちこちのページをパラパラめくっての討論となる。

次は児玉氏が第8章の「市場機能の欠如-外部効果-」について発表。ここでは簡単な例として出てきた一連の地名(大喜市、拒絶市、清流川、むかつき山地等)に一同大笑/しかし大企業の進出に伴う裏工作は、近年何かと問題になっており、考えさせられることしきりでした。

最後に前川氏が第9章の「市場機能の欠如-公共財-」について発表。同氏はこの道のエキスパート(社会の先生)であり、レジメにも一工夫/ここでは燈台とシロナガスクジラの例があげられ一何のこっちゃー、ただのり論が幅をきかせる。

次回は、7月15日(木)の予定です。

先ごろ発刊したREIF第二号を、図書館・大学
報道関係等に送付したところ礼状を多数いた
だきました。ありがとうございました。(下記掲載)

九州大学 樽木利幸 先生
山梨大学 花岡幸 先生
金沢大学 飯田恭敬 先生
金沢大学 松浦美瑛 先生
秋田大学 清水若志郎 先生
北海道大学 五十嵐日出夫 先生
北陸経済連合会
福井工業大学図書館
福井市立図書館
福井県立図書館

分科会だより

活動ナシ



予定は、6月15日(火)でしたが、都合により、今月は、エネルギー蓄積月間となる。なお前号で、新戦力の加入は望めないというコメントを記載しましたが、広報部情報局の有能な情報部員がキマツチした情報によりますと、コミュニティー企画研究所の木村裕二氏が、次回の幹事会で承認された後、同分科会に参加予定?

ともかく来月からの活動を広報部は、非常に期待しております。ガンバッテ下さいネ!

(有能な情報部員Xより)

次回は、7月1日(木)の予定です

6月29日(火)

米五三階会議室



同日は、話題提供の加藤氏が、多変量解析に関する参考論文(同氏が都市計画学会において発表したもの)を説明。

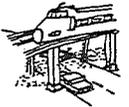
またアンケート調査は現在配付・回収中であり、次回までには集計できる模様。次回は、話題提供者の広瀬ゆ氏が「下水道の現状と将来」について発表の予定であり、さらに各人がアンケート調査の分析方法についてのアイデアを持ち寄る予定です。

* 同分科会は、話題提供と並行して多変量解析の勉強会を行なう予定です。講師は若輩ながら福大M2の中田君を起用。なおテキストは同君が用意することのこと。

次回は、7月27日(火)に、ス々にコミュニティーで行なう予定です。

6月29日(火)

福井大学交通研究室



まず山本氏が福井市の市街地の拡大動向と人口推移についての資料を提出し、それについて発表。ついで岸本君がメッシュデータによる地域特性の判定方法とデータリンクージシステムについて、「メッシュデータの利用方法と事例研究:国土庁計画・調整局編」を参考にして発表。最後に、古地図を年代別に比較し、福井市中心部がどのように変わってきたのかを全員で議論・検討・把握。

今回はス々に杉森氏が出席され、メンバー全員がそろって討議でき、内容の濃い一日でした。

次回は各自担当分を発表の予定です。

次回は、8月12日(木)の予定です。

6月24日(木)

福井大学交通研究室



新分科会の第1回活動の同日、出席者は分科会長の児玉氏をはじめとして、村松氏、福井氏、さらに(次回幹事会で承認される予定の)沢崎剛氏と浅井君の5名であった。

同分科会の研究目的は、従来軽視されがちなサービス業の立地動向について調査・研究し、これからの都市の土地利用動向を主導するのはサービス業であるとの認識のもとに、都市計画全般に及ぶ研究を行なうことであり、さしあたり福井市を対象として、各種サービス業立地マップの作成とその経年的な把握、施設ごとの立地要因分析、夜間都市計画のための資料収集等を行なう予定。

次回は、7月20日(火)の予定です。

6月28日(月)

福井大学交通研究室 → ぐらすごー



非常に多難(?)な活動をしてきた同分科会は、新戦力として福井大学大学院1年の北本君(次回幹事会で承認の予定)を加え、気分も新たに第三期活動に入る!

同日は、リラックスした雰囲気、ということで場所を「ぐらすごー」に変え、酒をくみ交わしながら、昨年度の反省、ならびに今後の活動について全員で話し合う。

発足して1年足らずということでもまだメンバーの結束がかたまっていないようですが、今年度の素晴らしい成果に期待します!

次回は、7月19日(月)の予定です。

第一回 幹事会

報告

第三回総会も開催され、いよいよ第三期活動に入ったわけですが、その第一回幹事会が、昭和57年7月15日(木)午後6時にコミュニティにおいて開かれました。出席者は、幹事長の本多氏(交通分)、見玉氏(研修会・土地利用分)、萬匠氏(住分)、村松氏(総務)、前川氏(理論研)、稲葉氏(緑分代行)、井嶋氏(会計)、中田君(広報)の8名で、以下に承認・決定事項を簡単に報告します。

一、新入会員の承認

…詳しいことはニューフェイス参照。

二、会計について

…会計の井嶋氏より会費の納入状況についての説明があり、未納の方はどしどし早めに納入して下さいとのことでした。なおとりあえず、現在銀行口座に入っているお金を機関連印刷買の一部にあてることに決定。

三、談話会について

…第六回の談話会についての話題があがったが、新しく談話会担当となられた加藤氏が欠席のため、次回に持ち越しとなる。

四、研修会について

…アンケート調査を行ない、研修会実施案を検討中ですが、いちおうのメドとして11月頃に秋田を訪問してはどうかという案が有力です。交通機関、日程等については、研修会担当の方で検討中。

NEW FACE

REF活動も第三期を迎え、新たに左記の9名が会員になられました。これにて現在会員数は、43名に

* 沢崎 幸夫 氏 (28才) 土地利用分
住所：南条郡南条町馬本14-22 ☎

* 松本 隆二 氏 (38才) 無所属
勤務：福井県土木部計画課
住所：大津市東淀川区西中島3-3-21 ☎

* 木村 裕二 氏 (28才) 住分
住所：福井市佐内町11-17 ☎

* 武井 幸久 氏 (32才) 土地利用分
住所：鯖江市下町 ☎

* 沢崎 芳樹 氏 (32才) 土地利用分
住所：福井市文京3-11-8 ☎

* 松本 憲郎 氏 (45才) 未定
住所：福井市別所町18-24-1 ☎

* 浅井 俊和 君 (24才) 土地利用分
住所：福井市大宮3-8-2 ☎

* 北本 久博 君 (22才) 緑分
住所：福井市大宮3-8-2 ☎

所属：福井大学大学院工学研究科
所属：福井大学大学院工学研究科

紅一点

西川 美紀 嬢 (30才) 未定
住所：吉田郡松岡町下合月 (勤務先) ☎

勤務：福井医科大学環境保健科
勤務：サワサキ設備設計事務所
勤務：R&A総合計画研究所所長

分科会だより

第21回 理論研究会報告 7月15日(木) コミュニティー

出席者：一本多・見玉・加藤・村松・前川・稲葉・中田

同日は、第10章担当の長村氏が欠席され、第11章の「レクリエーションと費用・有効性—その適用—」について本多氏が発表。同氏は、大学の先生らしく、参考文献などを駆使しての説明を行なう。今回は時間的な制約もあり、あまりつっ込んだ議論はなかった(説明が良かったせいかな)ように思いました。

次回は、8月26日(木)の予定です。

7月1日(木) 7月23日(金) 7月29日(木) コミュニティー

1日は、年間スケジュールの決定を行なう。23日は、分科会長の萬匠氏が、住宅問題についてのレポートを発表。29日は、会員によるフリーディスカッションを行なう。

次回は、8月12日(木)の予定です。

活動なし

今日は、都合により活動なし。作業が進んでいる同分科会にとっては、ちょっとした夏休みといったところか。(なかなかの余裕ですなあ～) 次回は、各自が担当分の発表を行なう予定。

次回は、8月12日(木)の予定です。

7月27日(火) コミュニティー

同日は、まずアンケート調査に関するスケジュールを決め、8月中旬までにコーディングを終了予定。次に広瀬氏が「下水道の現状と将来」について発表。最後は多変量解析の勉強会を行なう予定であったが、時間の都合で次回に持ち越しとなる。(次回は、しっかり勉強しましょう。)

次回は、8月24日(火)の予定です。

7月20日(火) 福井大学交通研究室

着々とその足場を固めている同分科会は、新たに、武井氏、沢崎(芳)氏を加え、総勢7名となる。それに伴ない同分科会は、メンバーを電算班と資料班に分ける。同日は、見玉氏が盛り場に関する論文を発表。また前回の課題であった、市街地図に住所をメッシュ変換しておすことは、浅井君の健闘むなく完了されず、次回へ持ち越し。

次回は、8月25日(火)の予定です。

7月19日(月) 福井大学交通研究室

同日は、今後の活動内容について検討を行なう。分科会長の近藤氏の提案により、都市の緑を、(1)街路樹、(2)公園、(3)個人の住宅の3つの部門に分け、それぞれを定量的に分析することに決定。それに伴ないメンバーを各部門に振り分け、次回までにより詳細な活動内容の検討を行ない、次回に発表を行なう予定。

次回は、8月23日(月)の予定です。

第五次理論研 テキスト決定!

なかなか順序通りに進まなかった第四次テキストが終わり、次回からは、児玉氏の推薦による「風景学入門」(中村良夫著、中央公論社刊)を第五次テキストとして採用することになりました。

今度のテキストは日本人(第三次・第四次テキストは、訳書であった)が著者なので、首をかきず、頭を悩ます表現はないと思いますので、興味・関心のある方はどしどし参加して下さい。お待ちしております。

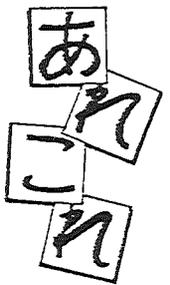
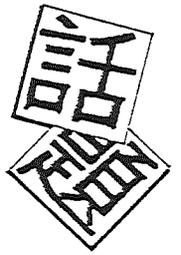
なお、各自の分理等は、次回の10月7日(木)に決め、本書の内容とも合わせて詳しいことは次号に掲載予定です。

(現在、福大生協に申し込んであります。)

おめでとう

8月2日(月)に、加藤氏に第二子(長女)が誕生し、待望の女の子ということになって、美夏と命名。元気にすくすくと育って下さいね。オメデトウ!

つぎに、運輸省第一港湾建設局の依頼を受けて、敦賀港振興計画を行なうことになり、REFとしては、本多氏・児玉氏・村松氏・中田君・浅井君の5名でワーキンググループを結成。(超党派グループの誕生!)その活躍が期待されます。最後に、8月27日(金)に名古屋において、「地方都市研究のための談話会」が開かれたことを報告します。この談話会には、本多氏をはじめ、山形氏・佐藤氏(以上北大)、清水氏(秋田大)、花岡氏(山梨大)、岡田氏(鳥取大)、檜木氏(九州大)の7名が参加され、地方都市の様々な話題に花が咲いたとか、咲かなかったとか。



分科会 だ よ り

8月24日(火)
米五3階研修室



同日は、まず全員でコーディング作業の残りを行なう。(なお、パンチは真のほうで行なう予定です。)

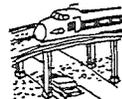
ついで、前号でもふれたように、福大M2の中田君を講師として、多変量解析(今回は、判別分析)の勉強会を行なう。

アンケート調査の分析については、大型電算機を利用することになった(本多氏に了承を得る)ので、9月中旬に名古屋大学へ出張の予定。

次回は、電算プログラムの検討と、どのような分析を行なうかについて話し合う予定。

次回は、9月7日(火)の予定です。

8月12日(木)
福井大学交通研究室



同日は、まず塚本氏が、連続立体交差採択基準の要点を発表。基準の解釈の仕方によっては、条件を満足しているのではないかということがわかる。

ついで、山本氏による福井市街地の拡大状況の発表があり、それに伴ないオブザーバーの原君(おなじみ福大4年生シリーズ)がその資料を提出。

最後に、杉森氏が、福井防災復興誌の概要を述べる。(興味ある発表とともに、福井市の防災復興がいかになされたかを認識した。――岸本君の談話より。)

次回は、9月30日(木)の予定です。

第22回 理論研究会報告 8月26日(木) コミュニティー

出席者…本多・児玉・長村・加藤・村松・前川・杉本・中田

前回欠席された長村氏が、第10章の「保全の論理」について発表。ここでは討論者の杉本氏から非常に鋭い質問(区画整理專業等についての現在のアプローチのし方は、動的アプローチについてみればどうなのか)が提示され、長村氏がたじろく一場面も、ついで杉本氏が第12章の「環境管理の戦略と戦術」、最後に児玉氏が、第13章の「経済成長と環境破壊」について発表。今回で、このテキストが終わるということもあって、本多氏、加藤氏などがさかんに質問を浴びせていました。(紙面がない～)

次回は、10月7日(木)の予定です。

8月25日(水)
福井大学福井(卓)研究室



研究主題と研究項目の大筋が決まり、それに伴う研究対象区域を決定。

また前回行なった班分けに伴ない、電算班は当面プログラムの完成(2ヶ月間)を目標とし、資料班は、盛り場の地域分布の把握、有識者とアライン調査などを行なう予定。

次回は、有識者として(?)、REF副会長の北嶋氏を講師として盛り場論の勉強会を開く予定。また、懇親会を兼ねて、盛り場の予備調査を実施予定。

次回は、9月21日(火)に、コミュニティで行なう予定です。

8月24日(火)
福井大学交通研究室



同日は、はじめてメンバー全員がそろい、いよいよ本格的な活動体制に入る。前回決定した部門別の発表を以下に行なう。

- (1)街路樹…季節による景観の美をスライドでみる。
- (2)公園……今月中に方針決定。
- (3)住宅……建ぺい率と緑地状況とを関連させて考える。

しかし、公園・住宅部門はほとんど活動がなく、近藤・杉原氏の街路樹部門に大きく引き継がれる結果となった。

次回も各部門別の発表を行なう予定。

次回は、9月27日(月)の予定です。

活動なし



8月12日(木)に行なう予定でしたが、急ぎょ取りやめになる。

今月は、夏休み(文字通り)で、来月からはバリバリ活動する予定とか。

紙面がいっぱいになるほどの活動報告を期待しております。がんばって下さい。

(広報部編集局長より)

次回は、9月2日(木)の予定です。



第二回 幹事会 報告

第二回幹事会が、昭和57年9月9日(木)午後6時にコミュニティにおいて開かれました。
出席者は、幹事長の本多氏(交通分)、副会長の北嶋氏、児玉氏(研修会・土地利用分)、加藤氏(談話会)、近藤氏(緑分)、葛匠氏(住分)、村松氏(総務)、前川氏(理論研)、井嶋氏(会計)、中田君(広報)の10名で、新入会員の松本(憲氏)と西川さんが顔見せのため参加。以下に承認・決定事項を簡単に報告します。なお、次回は10月21日(木)に福井県職員会館で行なう予定です。

- 一、談話会開催時における会員外出席に対する扱いについて
…茶代等として1000円程度を負担してもらう。
 - 二、REFニュース配付ルートについて
…従来統一されていた配付ルートを以下のよう決定しました。ニュースが届いていない方は各責任者に申し出て下さい。
 - 三、退会について…山下 博氏の退会を承認。
 - 四、会計状況について
…未納金はまだかなりあるので9月分までの請求書を送付することになりました。ぜひ早めに納入して下さい。なお、振込先を以下に記しておきますので、お忙しい方は銀行振込でどうぞ。
 - 五、分科会中間報告会の開催について
…中間報告と懇親会を、来年1月中旬頃に行なうことになりました。その原案を総務が作成し、次回提出。
 - 六、研修会について
…国内研修を秋田で行なう方向で進めてきましたが、秋田の受入体制はOKということ、具体的な話がまとまりそうです。詳しいことは次回に。
 - 七、地方都市研究のための勉強会について
…各分科会から最低1人出席することに決める。詳しい内容は下記レポート参照。
 - 八、談話会について
…号外でもお知らせしたように、RMP機関の児玉氏に、82夏のヨーロッパとソビエト」を報告していただきます。
- その他…現在行なっている教員差振振計画、また交通分科会が発表した鉄道シマールより得られる収入については会計にまわすことを報告。

*** 第23回 理論研究会報告 *** 10月7日(木) コミュニティー

出席者…本多・児玉・村松・加藤・杉本・岸本・中田

前号でもお知らせしたように、第5次テキストとして「風景学入門」が採用され、推薦者の児玉氏が序章を発表。各自の分担は以下のとおり。

日程	目次	発表者	討論者
11月	第1章 目と風景—風景の視覚像と心像—	岸本中田	杉本
	第2章 風景の様式—集団表象としての風景—	橋本井嶋	本多
12月	第3章 行動と風景—物と空間の「用」—	本多	加藤・藤
	第4章 風景の相貌—アミズムから風格へ—	前川	児玉・岸本
1月	第5章 風景の品格—象徴と含蓄—	児玉	村松・井嶋
	第6章 境と心—物に—如—	杉本	長村
2月	第7章 「空」の設計思想—影を投じて朴に復る—	加藤	中田
	終章 明日の国土造形へ向けて	村松	前川

次回：11月18日(木) コミュニティー

REFニュース・配付ルート

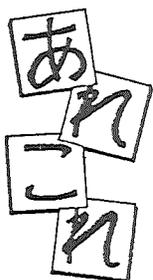
- ・児玉氏 (23名)
 - 県関係：稲葉・加藤・小林・近藤・杉原
 - 杉森・高橋・竹内・塚本・長村
 - 葛匠・廣田・川村・高田・山本・沢崎
 - 三和製菓・奥居・川村・高田・杉本・平野
 - 福井高等専修学校・広部・武井
- ・井嶋氏 (9名)
 - コミュニティ：北嶋・宮永・広瀬・木村
 - その他：仙坊・沢崎・松本(憲)・松本(隆)
- ・中田君 (9名)
 - 福井大学：福井・本多・岸本・浅井・北本
 - その他：前川・西川・村松
- ・本多氏 (3名)
 - 会員外：今野・花岡(YRP)・清水(秋田)

会費納入の御願ひ

振込先…福井銀行 普通預金口座 一六二五四九
口座名 RMP事務局 長 北嶋 重昭
年額一万二千円 (分割可)

地方都市研究のための談話会 概要報告

10月12日(木)午後6時から名古屋市王山会館で開かれた地方都市研究のための談話会には、REFから、本多・村松・長村・児玉・武井・加藤の6名が参加。
当日は、まず談話会設立の経緯が花岡教授から説明され、ついで東北・中国・名古屋の代表から発表があった。東北の課題として、清水助教(秋田大)から過疎の問題と東北新幹線開通に伴う表日本と裏日本の問題があげられた。つぎに中国の課題として、岡田助教(鳥取大)から行政に対する大学人の係り方の問題があげられた。最後に名古屋の課題としては、都市高層ビルを介して市民不在という批判があったことに対してプロジェクト公表の方法論が発表された。
なお、土木計画学委員会の中に、地方(都市)問題研究分科会(仮称)を設置するために要望を続けることについても参加者の同意を得た。
ところで席を移しての懇親会では、YRPからも大量の出席があり、またしても、武田節」といっちらい節の歌合戦が披露された。
(加藤氏談より)



第三期に入り、益々充実した活動を行なっているREFですが、その一端を示す話題を取り上げてみました。
その一つとして交通分科会が前期で行なった越美北線のアンケート調査の結果が、大野青年会議所の「越美北線」というパンフレットに掲載されたことがあげられます。
またさきごろ行なわれた「さほの商業発展1000人アイデア募集」において交通分科会の山本氏が、見事一席に入賞されました。おめでとうございます。

お詫び

広報担当の中田の都合により、ニュースの発行が遅れたことを深くお詫び申し上げます。よって今回は9月・10月の合併号とさせていただきます。

分科会だより

10月14日(木)

コミュニティ



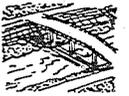
8月・9月と活動を休止していた同分科会は、同日久しぶりの顔合わせとなる。同日のディスカッションは、コーポラティブハウスが福井市において適用可能か否かを検討。また今後、コーポラティブハウスの利用可能な制度のみならず、あらゆる可能性を考えていくという方針を打ち出し、全員の賛成を得る。なお、休養期間を十分とったので、次回からは精力的な活動が期待できそうです。

次回：10月26日(火) コミュニティ

9月7日(水)

9月30日(木)

コミュニティ



前号では名古屋大学へ出張の予定と記したが、中田君の孤軍奮闘によりその必要がなくなり取り止めとなる。

7日には、中田君が単純集計結果を提出。そして今年も第5回土木計画学研究発表会に「地方都市における河川と水害に関する住民意識の考察」と題する研究を発表することに決定。

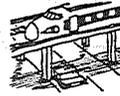
30日には、同君がクロス集計の一部を提出し、その後全員で分析手法の検討・分析結果の解釈の各自分担を行なう。(この日はかなり遅くまで話し合いが続いた)

次回には、各自割当て分に関し、若干のコメントを持ち寄り、全員で検討を行なう予定。

次回：10月28日(木) コミュニティ

9月30日(木)

福井大学交通研究室



今回も同様に、各章の担当者が研究の成果を発表する。

前々回につづき全員出席し、オブザーバー2名(松本氏・原君)を加え、総勢10名で内容の濃い議論を行なう。

事例研究は、浜松駅高架化を前川氏が発表し、都市構造分析を岸本君が発表。(その後の分析の結果、データミスが発見されたので手直しの必要有り)

特に興味を持たれたのは、北陸線敷設に関する意見書(仙坊氏担当)の解説であった。これは現代でも十分に適用するような内容の意見書で全員感心する。

(あ〜あ昔の文章は難しい。一漢字に弱い原君の談話より)

次回：10月29日(金) 福井大学交通研究室

9月21日(水)

コミュニティ



同日、電算班は、福井氏の奮闘によりデータバンク化のベース完成を報告。

また資料班は、沢崎岡氏が封建都市化時代〜現在までの福井市街地における商業地(盛り場)変遷を報告。さらに見玉氏が、現在の福井市街地の土地利用現況図を紹介。

最後に、盛り場変遷に関する有識者として北嶋氏から、戦後からの元町・片町・有楽町かいわいの社会変動に伴う中心的盛り場の変遷等の話を伺う。(同氏の談話会での講義が決定的になったとか?)

なお、同日活動後に開催される予定であった懇親会は延期となる。

次回：10月28日(木) 福井大学交通研究室

9月27日(月)

福井大学交通研究室



幹事会報告のあとを受けて、各班の報告が行われた。

まず、公園班、ついで住宅班が活動方針と作業状況の報告を行なう。

街路班はスライドを上映。

今回も街路班の進行状態は、公園班・住宅班を引き離していたが、次回までには公園班もスライドを準備する予定であり、今後の同分科会の活動が楽しみである。

次回：10月25日(月) 福井大学交通研究室

第一回 談話会 開催!

号外談話会ニュースでもお知らせしたように、第二回談話会が、昭和57年10月21日(木)午後6時30分から約1時間半、福井県職員会館二〇一号室で開催されました。

今回は、たいへん多忙な日程の中、福井県副知事、R.E.F顧問でもある栗田幸雄氏に、今夏の、訪ソ青年の船の報告をお願いいたしました。(以下に、その内容を要約して記載いたしました。)

なお参加者は、連絡が急であったために、前回は下回ったものの、会員の半数以上の22名で、活発な質疑応答が交わられました。(参加者は以下のとおりです。敬称略。)

- 菅田・本多・北嶋・東玉・加藤・村松・前川・松本(憲)
- 山本・杉森・広田・奥居・稲葉・川村・杉本・沢崎(幸)
- 井橋・西川・岸本・中田・浅井・北本

「82夏のヨーロッパとソビエト」

訪ソ青年の船は、教習受、教習市の発展を目的として、ソ連との民間レベルの友好親善を図ろうと、昭和46年より実施されたもので、今回は、総勢20名のうち本県関係者は10名余りであった。

同氏の行程は、敦賀→ナホトカ→ハバロフスク→モスクワ→フランクフルト→ボン→ロビンソン→モスクワ→ハバロフスク→ナホトカ→敦賀

ナホトカまでの船旅は24時間ばかり、入国に馴してはたいへんきびしく、地図の持ち込みはダメ!

ハバロフスクまでは、列車で15時間、この間は大草原が続き、河川は蛇行し、改修工事はされていない様子。(河川が日本と違って大きく広いから?)

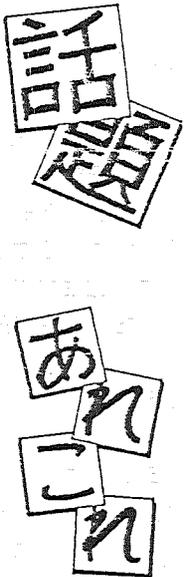
モスクワは、人口八百万以上の大都市で、オリンピック時に外人用ホテル等が整備されたが、一般市民の生活は豊かではないらしいというのが、同氏の感想。

都市計画については、各種整備が進んでおり、都市内の緑も保全されているとのことでした。

水エピソード……日ソの青年が座談会と銘打って意見交換を行なう予定であったが、ソ連の一方的な進行で終ってしまったとか、やはりお国柄の違いでしょうか、

西ドイツへ渡ると、ソ連とは違って交際がな画一行はソ連の野菜不足から解放され、ホッとしたとのこと。また西ドイツでは、最近、青少年の非行・原産・東海関係等が問題になっているそうです。

(編集局 浅井持派員レポートより)



御好評の話題あれこれコーナーでは、今回もいくつかの話題をひろってみました。

まず、幹事会報告でもお知らせしたように、委託研究に關して、「高尾交通体系部会」と「雪刈部会」が設置されました。これらは、総務の村松氏をチーフとして活動するもので、締切は1月末日のことです。(特別清敏部隊のみなさんかんはつて下さい。)

また前号で山本氏が、さばえの商業委員長、一〇〇〇人アイデア募集して、見事一席に入賞されたことをお知らせしましたが、同氏より会計のほうへ、懸賞金の一部の寄付がありました。紙面を借りて御礼申し上げます。

このほどコミュニティー企画研究所を田島退社され、新しく「北嶋工管設計」を設立されました。おめでとうございます。これからがんばって下さい。

「マミ情報」

情報局がキマツチしたところによると近々広報担当の人事移動がある模様!

第三期 中間報告会 御案内

幹事会報告でもお知らせしたように、第三期中間報告会が左記のように行なわれることになりました。当日は、会長挨拶の後、各分科会の報告を10分程度行ない、質疑応答・連絡事項の報告、つづいて懇親会という段取りになっています。なお当日、酒をくみ交わしながらの歓談のひとときをもちたいと思っております。自動車でのご来場は御遠慮願います。

一日時：昭和58年11月20日(木) 午後6時

一 場所：福井県職員会館二〇一号室 (TEL:0776-216-0111)

第三回 幹事会 報告

第三回幹事会が、昭和57年11月4日(木)午後6時にコミュニティーにおいて開かれました。

出席者は、幹事長の本多氏(交通分)、長村氏(水分)、加藤氏(談話会)、村松氏(総務)、前川氏(理論研)、井橋氏(会計)、中田君(広報)の7名で、以下に承認・決定事項を簡単に報告します。なお、次回は11月13日(木)で行なう予定です。

一、R.E.F.会員の入会資格について

……現在会員数は43名ですが、R.E.F.の活躍によって今後とも会員の増加が予測されます。人数が増えすぎますと運営そのものが困難になることから、入会資格についての検討がなされました。資格基準については、次期総会に提出か?

二、会計状況について

……会費納入お賤いキマンペーン等によって、通常の活動状態に戻りつつある会計では、年末の各分科会の活動(忘年会)の補助金として一万円を支給することになりました。

三、中間報告会の開催について

……総務の村松氏から幹事会報告が提出され、これを承認。詳しいことは上記案内参照。なお各分科会は、二千円程度のレジメを御用意願います。

四、研修会について

……研修会担当幹事の東玉氏が、多忙のため欠席されたので具体的な話はお流れになる。詳細は次回繰越か?

五、委託研究について

……現在、「教習受振興計画」を行なっていますが、さらに福井商工会議所の依頼による、「高尾交通体系」・「雪刈部会」を委託し、それぞれ特別部会を設置。

六、地方都市研究の勉強会・旅費の補助について

……旅費の補助について、会計の方よりOKサインが出たので、以後は旅費の全額を補助。また10月に行なわれた勉強会の分も、さかのぼって支給することになりました。

その他報告

……会計状況が非常に悪化しているとのニュースをお伝えしたところ、三和製菓様より印刷費の一部として寄付をいただきました。紙面を借りて御礼申し上げます。

分 科 会 だ よ り

10月28日(木)
11月9日(火)
11月22日(月) コミュニティー



前号でもお知らせしたように、今年も土木計画学研究発表会に論文を発表することになったため、作業スピードが一挙にアップし、全員バテぎみの同分科会。

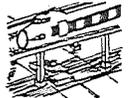
10月28日と11月9日の両日は、全員が担当分の作業を思い思いに趣向をこらした図表にまとめ、発表を行なう。

さらに11月22日は、全員で全体的な筋立て、内容について討論を行ない、その結果を加藤氏・中田君がまとめることになる。

論文のまとめ・清書については、11月24・25日の両日に、福井大学交通研究室において、上記両名によって深夜まで行なわれたことは言うまでもない。(中間発表会なんて恐ろしくないぞ~) なお今回は忘年会を行なう予定。(腎休め、腎休め)

次回：12月24日(金) 佐佳枝亭 X'masパーティー

11月11日(木) 福井大学交通研究室



毎回事例研究を行なっているが、今回は長野電鉄(株)の立体交差事業を取り上げる。発表者は前川氏。長野の場合は、今までの都市と異なり、地下へ鉄道をもっていったことが特徴的であり、かなり詳しい発表であった。ついでメッシュデータの変容分析に関して、原君から発表がある。(データミスがあったため、分析のやり直しがあり、少々混乱がみえてあった)。最後は、塚本氏が跨線橋問題について発表。

12月16日(木) 福井大学交通研究室 & 王将

同日は原君の発表のあと、場所をかえて大忘年会を開催/2次会は土地利用分科会と合流して、カラオケ合戦が盛大に繰り広げられたとか。なお中間発表会原稿締切りは、1月12日に決定!

次回：1月12日(木) 福井大学交通研究室

10月25日(月) 福井大学交通研究室



同日は、公園班が「公園の現状を把握する」という目的で、福井市の近隣公園を撮影したスライドを上映し、それについて討論を行なった。しかし、近隣公園のみを撮影したために、各公園に大きな差はなく、独創性に欠ける印象を受けた。(北本君談) 一方、他班は班員各氏が多忙のため発表がなく、次回まで延期となった。(足並みが乱れていますね~、ガンバッテチョ)

12月13日(月) 福井大学交通研究室

同日は、住宅班が作業報告を行なう。その中で他班との関連に問題があるということで、全員で討論を行なう。その結果、公園(点)、街路(線)、住宅(面)という方向で福井市の緑を調べることになった。なお、忘年会は中止となり、中間発表会後に新年会を開催!

次回：1月10日(月) 福井大学交通研究室

10月26日(火) コミュニティー



同日は、コーポラティブ方式による町作りが、現在までにどれくらい進捗してきたかを検討。また、現状でどこまで同方式が達成可能かについてのディスカッションを行なった。

11月12日(金) コミュニティー

いよいよ同分科会の研究活動も大詰めに入り、福井市でのケーススタディーの段階に到達。今回は、福井市の住宅実態を把握し、同市でコーポラティブ方式を用いた町作りを行なうとしたら、どこが適切かを論議する。またこれらに基づいて、計画的な小集団の可能性についても、全員でディスカッションを行なった。

次回は今のところ未定です。

10月28日(木) 福井大学交通研究室



同日は、福井氏がメッシュデータプログラミングの経過を報告。盛り場の交通実態調査の打合せを行なう。

11月19日(金) 片町・駅前南通り・北の庄において実態調査

午後6~12時にかけて、歩行者・自転車・タクシー・自動車等を方向別にカウント。(ご苦労さまでした。)

12月16日(木) やまもとや

同分科会結成以来、初の全員参加! 先日の調査集計結果を浅井君が発表。その後忘年会が開かれ、一年の垢をアルコールで消毒(消毒になったかどうかは、さだかではない。)

次回：1月19日(火) 福井大学交通研究室

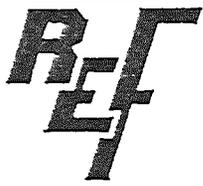
— 第24回 理論研究会報告 — 11月18日(木) コミュニティー

出席者…本多・兎玉・前川・加藤・村松・杉本・井橋
岸本・中田

同日、第1章と第2章を合せて行なう予定であったが、第2章の発表予定であった福葉氏が欠席したため、第1章の岸本・中田連合軍の発表だけにとどまる。(前途多難を思わせるスタートとなる。だいじょうぶですかね~)

両君の発表の後、討論者の杉本氏が視察対象を「物体」から「人」に置換えた場合にその価値の決め方はどうなるのかを質問する。すかさず中田君が、「物体」も「人」も個人のある基準をもって相対的に決まるのではと応答。また同君は、「気韻生動」の意味を調べておらず、非難のまとなる。(ウソです。)

次回：12月23日(木) コミュニティー



NEWS

'83.MAR.15

第26号1-3冊

発行

福井地域環境研究会 事務局
RESEARCH GROUP of REGION and ENVIRONMENT in FUKUI
福井市中央 3-2-15 本町ビル「コミュニティ企画研究所」内
〒910 電話 0776-(25)-0683

LAND USE

「遊憩空間論の試み」として、浅井君が発表。同報告は、現在まで余りにも明らかにされていない遊憩空間に焦点を当て、その変遷と盛衰をふまえた上で、データ作成を試みている。
基礎データとしては、夜遅くまで行なった盛り場における歩行者交通量、自動車交通量調査の結果を用いている。
同分科会は、只今データ作成に重点を置き、本原稿の締切には、すべり込みセーフといきたいところとか。

中間報告会 開催!!

第3期REF活動の中間報告会が、昭和58年1月20日(休)午後6時から福井県職員会館201号室で開催されました。これは、活動内容の中間報告と、日頃交流の少ない他の分科会との懇親会を兼ねて催されたものです。
同日は、司会者の村松氏の進行のもと、各分科会の発表(内容については各分科会の記事を参照して下さい)、それに対する質疑応答が行なわれ、その後盛大に懇親会に突入し、会員の親睦を深めました。
なお出席者は以下のとおりでした。(敬称略)

TRAFFIC

「北陸本線による都市の分断の解消について」と題して塚本氏が発表。同レポートはまず、北陸本線が都市構造上大きな分断要因となっていることを問題提起とし、福井市の都市形成過程、北陸本線と都市発展との関連分析を行なっている。ついで北陸本線高架化の可能性を採択基準の点から検討し、他都市の事例を踏まえて駅地区整備構想の立案で結んでいる。情報によると同分科会は、すでに本原稿の役割分担も終わり、例年のように余裕たっぷりとか。

- 今野・加藤・川村・児玉・近藤・塚本・富田・平野・本多・村松・稲葉・井幡・奥居・前川・中田・岸本・広田・広部・杉本・山本・杉原・小林・福井・浅井・北本・沢崎等

GREEN

「福井市街地における緑空間の段階論」と題して稲葉氏が発表。同報告は、緑環境の形成が、街路樹、公園、宅地内緑地によるものが大きいことに着目し、それらを定量的に分析・把握しようとしたものである。それぞれの緑の実態について報告がなされたが、その中でも公園についてはかなり分析が進んでおり、図表と照らし合わせながら、その実態を多少なりとも把握できたようである。(結果が整理される)
なお同分科会は、本原稿へ向けて現在活発に活動中である。…身動きがとれないというウツアもちらほら。

- 懇親会も盛大に!!

HOUSE

今回は、中間報告を行なうまでの研究進展がみられなかったということで、パスでした。住分科会危し!!(しかしその後数回活動を行ない、本原稿には間に合わせる予定とのこと……分科会により参照)

WATER

「福井市における河川と水害に関する意識調査結果」というタイトルで中田君が発表。同報告は都市河川を取りまく諸問題に関する住民意識の実態をアンケート調査から明らかにすることにより、住民との合意形成プロセス問題、河川の評価尺度の問題に対する糸口を探るものである。その結果として、住民の水害に対する危険意識の対象は、外水河川から内水河川へと移行してきていること、対策に関しては、土地利用規制を定めることに意識と現実ではギャップがあることが明らかとなった。
同分科会は、第5回土木計画学研究会発表会に照準を合わせていたため、あとは楽!!

第四回 幹事会 報告

第四回幹事会が、昭和58年1月13日(休)午後6時にコミュニティにおいて開かれました。

出席者は、幹事長の本多氏(交通分)、長村氏(水分)、高匠氏(住分)、近藤氏(緑分)、稲葉氏(緑分)、加藤氏(談話会)、村松氏(総務)、前川氏(理論研)、井幡氏(会計)、中田君(広報)の10名で、以下に承認・決定事項を簡単に報告します。なお、次回の幹事会は、3月17日(休)に行なう予定です。

一、REF会員の種別について

…現在REFでは、県外在住の会員が増えつつあります。そこで分科会活動が十分にできない人のために、新たに会反制度(仮称)を設けることになりました。詳しい条件等については、次回に規約第三章の改正案を提出の予定。

二、会計状況について

…会計未納の方には、各分科会長から連絡してもらうことになりましたので、よろしくお願ひいたします。

三、中間報告会の実施について

…会計から費用の半額が補助されることに決定。

四、地方都市研究会(岡山)について

…岡山の地方都市研究会では、レポートとしてREFの村松氏が「雪に強い都市づくり」について発表。

五、REF入会申込書について

…前号でもお知らせしましたが、総務の都合により詳細については次号で報告いたします。

六、REF3号の編集について

…REF3号へ向けて新たに編集委員会(委員長は加藤氏で分科会の代表と総務・会計で構成される)が設置され、3月末日を締め日として作業を開始。

七、その他

…談話会については、中部工大の竹内先生のオーストラリア報告が有力。研修会は未定。

— 第5回土木計画学研究発表会 報告 —

第5回土木計画学研究発表会が、昭和58年1月28、29日(金土)の両日、岡山商工会議所で行なわれました。

昨年に引き続き、REFからは水分科会が、今期の活動内容をまとめ、「地方都市における河川と水害に関する住民意識の考察」と題した研究を発表。(発表者は水分科会を代表して加藤氏)

同氏の発表は28日の午後に行なわれる。昨年よりも出席者が少なく同氏の表情には残念な気持ちがうかがえたが、昨年にもましてごわやかな弁舌で発表を終える。

批評者は、岡山大学の名合先生でしたが、質問らしい質問もなく、大むね良い講評をいただく。

今回で2度目の発表でしたが、水分科会としては、この研究発表会に照準を合わせていたので、今後の活動(3月末日の本原稿の締切まで)は、比較的楽であると思われる。— かどうかはわかりませんがねえ—。

地方都市問題研究会 岡山で開催!

地方都市問題研究会が、昭和58年1月27日(木)午後5時から、岡山のまきび会館で開催されました。出席者は30名で、その内REFからは本多氏、加藤氏、村松氏、松本隆氏、岸本君、中田君、浅井君、北本君の8名が参加。

今回は、REFから「雪に強い都市づくり」と題して、村松氏が発表。この中で同氏は、住民に対して実施した56豪雪時の意識調査から明らかとなった問題点に対する諸対策を段階的に設定し、説明(特に超短期的な対策について)。

質問者はやはり雪国の、北海道、東北地区の会員が多く、同じ雪対策でも地域による差がみられ、あらためて地域性の重要性がわかりました。

ついで、徳島大学の青山先生から「地方都市の定義」に関するレポートが出され、定義の難かたさが良くわかりました。

引き続き開催された懇談会になっても、議論の花が咲き、話題のつきない一変でした。

DEPARTURE

REF活動も第三期の終わりに近づきそろそろ原稿をまとめるのかかかっている今日この頃ですが、REFに入ってからかかっている今日この頃です。REFに入ってからかかっている今日この頃です。REFに入ってからかかっている今日この頃です。

……大学院1年になると同時にREFに入会したわけですが、最初は右も左もわからず言われるままに動いていました。しかし話会や交通分科会に参加し、様々な事を学び、自分自身が非常に大きく成長したように思います。特に地域の問題は地域住民自身が真実に取り組んでいかねばならないことに痛感させられました。このREFでの経験を生かして今後がんばりたいと思います。どうもありがとうございました。

……言いたいことは全て岸本君が言ってくれたので、私はおれを言いたいと思います。水分科会のみならず、幹事の方々、それに大学の先輩である稲葉さん、井嶋さん、どうもありがとうございました。

敦賀港振興開発シンポジウム 盛大に開催!!

たびたび紙面でお知らせしてきたように、村松氏をチーフとする(委託)「敦賀港振興計画」特別部会が、その作業の一部として、敦賀港振興開発シンポジウムを開催しました。これは、昭和58年3月12日(土)午前10時~午後3時半まで、北陸電力(株)津井支店5階ホールで開催されたものです。

同日の出席者は100名を軽く越えていましたが、REFからも会長の菅田氏をはじめとして多数が参加。

シンポジウムはREF顧問の栗田副知事の挨拶で始まり、同じくREF顧問の今野先生の司会のもとに進められた。本多氏の基調報告を受けて、古池氏(ジャパン・ナオトカ・ライン共同事務所)、恩田氏(住友商事(株)経貿部)、長尾氏(京都大学)の3氏が話題を提供。その後、批評、討論に移ったが、予定の時間を30分以上もオーバーし、最後まで白熱したシンポジウムでした。

(特別部会のみなさんごくろうさまでした。)

告知板

最新独占情報

REF活動も第三期の終わりに近づき、分科会をめぐって様々な怪情報が乱れとんでいる。まず水分科会には中田君の穴をうめる有力な助っ人探しに忙しいとか、また交通分科会では、本多氏が新たな分科会を結成するために、抜け出すというウワサが流れている。幹事人事の方では、広敷の担当の後任に、福井大学大学院の浅井君が起用されることに決定(幹事会で承認予定)

おくやみ

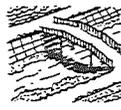
1月7日に山本氏のお母さんが死去されました。痛んでおくやみ申しあげます。

赤ちゃん

緑分科会の近藤氏に長男(宏之君)誕生! 1/10
交通分科会の井嶋氏に長男(未定)誕生! 3/14
お二人ともおめでとーございませう。

分科会 だより

12月24日(金) 佐佳友亭



同日は、慰労会を兼ねて忘年会を盛大に行なう。しかし研究熱心な同分科会のメンバーは、酒を飲んでも研究論議に花が咲いていました。(後半はカラオケに興じていた。…マッパリ)

1月11日(火) コミュニティー

同日は、中間報告会の準備、および土木計画学発表会の準備を行なう。中間報告会の発表者は、陰謀により中田君に決定。

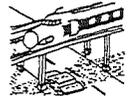
2月1日(火)

3月8日(火) コミュニティー

章立て、および各自の担当を決める。

次回：3月29日(火) コミュニティー

1月12日(水) 福井大学交通研究室



中間報告会に備えて、各自が担当したレポートの読み合わせを行ない、詳細なチェックをする。かなりきびしい字数制限にもかかわらず、要領良くまとめられており、原稿作成担当の岸本君も楽であったとか。

2月17日(水) 福井大学交通研究室

活動もいよいよ、つめの段階に入り、このテーマに沿った作業報告の最終回となる。井橋氏は踏線橋の問題について発表。ついで原君が、土地利用の観点から高架橋前後のアクセシビリティの比較について発表。

次回は、3月末日の締切に先がけて、各自分理の本原稿を持ち寄る予定である。

次回：3月24日(水) 福井大学交通研究室

1月10日(月) 福井大学交通研究室



同日は、中間報告会へ向けての最終的なつめの段階に入り、各班が進行状況を報告。その後、作業会を行なう。

1月17日(月) 福井大学交通研究室

同日も先週と同様に作業会を行なう。なお、トピックスでもお知らせしたように、同分科会長の近藤氏に長男が誕生され、全員に祝福されながらの活動でした。

次回は今のところ未定です。

1月13日(水) コミュニティー



同日は、目次を決め、各自の割当てを行なう。

2月10日(水) 厚生年金会館

危機を感じた同分科会は、同日合宿を決定/持ち寄った資料を検討し、原稿の分担を行なう。

2月22日(火)

3月8日(火) コミュニティー

REF 第3号へ向けて、原稿の検討および校正を行なう。また新たに問題となった点について、全員でディスカッションを行なう。

次回は今のところ未定です。

1月19日(水) 福井大学交通研究室



中間報告会の前日というあわただしい中で行なわれ、目次の確認、原稿の整理、発表者の選定等の後、原稿各節の分担を行なう。

3月10日(水) 福井大学交通研究室

同日は、沢崎(幸)氏が都市商業の類型化について発表。また、福井氏は電算班の進行状況の報告を行なう。最後に、最終原稿の身当を確認する。

なお、次回は、各自が、割当てられた原稿を持ち寄り、検討を加える予定。

次回：4月14日(水) 福井大学交通研究室

＝ 理論研究会報告 ＝



第25回 12月23日(水) コミュニティー

・同日は、発表者が完全に自分の担当を忘れており、理論研忘年会に変更。

第26回 2月3日(水) コミュニティー

・第2章を稲葉氏が、第3章を本多氏が発表。

第27回 3月3日(水) コミュニティー

・第4章を前川氏が、第5章を児玉氏が発表。

次回は、4月7日(水)にコミュニティで行なう予定です。

第五回 幹事会 報告

第五回幹事会が、昭和58年3月17日(木)午後6時半にコミュニティにおいて、開かれました。

出席者は、会長の富田氏、幹事長の本多氏(交通分)、長村氏(水分)、近藤氏(緑分)、見玉氏(土地利用分)、加藤氏(談話会)、前川氏(理論研)、井橋氏(会計)、中田君(広報)、浅井君(広報代理)、および、REF3号の各編集委員の13名で、以下承認・決定事項を簡単に報告します。なお、今回の幹事会は、5月19日(木)に行なう予定です。

一、REF3号編集について

編集委員会報告に詳細掲載

二、総会日程について

6月18日(土)の予定、詳細は、次回幹事会で。

三、入会申込書について

新たに正式な入会申込書が出来ました。今後の新入会員は、この申込書に記入して下さい。

四、談話会について

山川 氏(東日交通コンサルタント) 中村良夫氏(風景学入門著者) を予定

五、研修会について

海外…先白、ハガキをお渡したように、シンガポール 8月9日(火)〜8月13日(土) 国内…11月の地方都市問題講習会への参加等の意見が出ました。

六、その他

会計から未納金対策としての会費納入方法の改正意見、次期幹事について、2名の新入会員の入会承認

REF3号 編集委員会 報告

第一回

3月17日(木)コミュニティにおいて、幹事会にひきつづき行なわれました。出席者は、編集委員長に加藤氏(談話会・水分)、前川氏(理論研・交通分)、広田氏(任分)、杉本氏(緑分)、沢崎氏(土地利用分)、および、幹事会出席者で、以下編集方針を報告します。(下段の括弧内は予定ページ数)

- (一) 巻頭言…富田会長 (1)
- (二) 活動報告…(1)分科会…各分科会長 (1)

- (2) 理論研…前川氏 (3)
- (3) 談話会…加藤氏 (3)
- (4) 研修会…見玉氏 (3)
- (5) 総会…村松氏 (3)

- (三) 海外視察報告…今野先生 (5)
- (四) 研究報告…交通 (15)

- (五) 水 (10)
- (六) 住 (7)
- (七) 緑 (4)
- (八) 土地利用 (4)

- (九) 規約 (3)
- (十) 名簿 (4)
- (十一) 資料…REF2ニュース (4)

- (十二) 校正…5月17日(木)を目安とする。

- (十三) 原稿提出期限…4月27日↓4月28日発送

- (十四) 全分科会が、4月27日(木)までに提出完了いたしました。

- (十五) みなさん、御苦勞様でした。

第二回

4月21日(木)にコミュニティにおいて右記の編集委員の出席で開かれました。以下、決定事項を報告します。

原稿提出期限…4月27日↓4月28日発送

校正…5月17日(木)を目安とする。

全分科会が、4月27日(木)までに提出完了いたしました。みなさん、御苦勞様でした。

土木計画学 — 理論と実際 — 国民科学社

二計画の作成と評価、二投資と効果影響、毛利正光 著、土木計画に関する理論・手法・技法を掲載、西村 昂 共著

絶賛発売中

(REF3号)

わだ い あ れ こ れ

REF3活動も第三期が終ろうとし、各分科会の皆さんは、原稿作成に四苦八苦されたと思います。御苦勞様でした。その中で、二、三話題をなろうとしてみました。

まず幹事会報告でもお知らせしたように、突然、着き上がった海外研修、第三回総会時に行なわれた研修会に関するアンケート結果(REF2ニュース第21号に掲載)に重視した様子で、多くの参加者が期待できそうです。大栗りの幹事長本多氏、早々にシンガポールへ事前調査に乗り込んでおられるとの事。5月より、参加者対象にゼミナールが開始される予定です。(詳細は、後日お知らせします。)

この時期気になるのは、退職員の人事移動、各職場でヤミ情報飛びかかっている事だと思います。それに先がけ、県教職員の異動が行なわれ、REF3理論研幹事、交通分科会の前川政人氏が、このほど、大野高校から高志高校へ異動されました。おめでとうございます。これからがんばって下さい。また、東工大、筑波大で急遽された中村元則氏がこのほど、コミュニティ企画研究所へ入社されました。東京から福井へもどってこられた同氏、またバリバリ研究会活動にはげまされることと思います。これからがんばって下さい。

おめでたい話題を二つほど。前号でお伝えしたように、交通分科会の井橋氏に長男誕生の名前未定ということでしたが、「祥宏君」と命名されました。おめでとうございます。また、緑分科会の竹内成和氏が学生時代からの交際の結果、このほど、めでたくゴールインされました。新婚は、同氏のクラブの後輩の涼子さん。末長く、お幸せに。最後に、今まで広報担当の中田景文氏(現、大日本コンサルタント)に代りまして、今回より、浅井(土地利用分)が、REF2ニュースの後を引き継ぐ事となりました。何かと至らない点が多々あると思いますが、よろしく願っています。

NEW FACE

◎丹原 光隆氏(48才) 住所…福井市松本二丁目一〇 水分科会希望

◎中田 治和氏 勤務先…福井県土木部河川課 住所…坂井郡芦原町北場西 緑分科会希望

勤務先…三和測量KK ☎(七七七)七九一五三三

分科会だより		
<p>水分科会</p> <p>3月29日(火) 珈琲蔵 REF原稿は、土木計画学発表文のみとせず、前文として、地域の問題点や現状を加えることなどを話し合う。</p> <p>4月25日(月) 福井大学交通研究室 前回の決定事項にのっとり、原稿修正を行なう。</p>	<p>交通分科会</p> <p>3月24日(木) 福井大学交通研究室 原稿の第一次読み合せ</p> <p>4月14日(木) 福井大学交通研究室 原稿の最終読み合せ、目次完成した。</p> <p>次回は、5月26日(木) やまもと旅館にて、解散式の予定</p>	<p>—第28回理論研究会報告—</p> <p>4月6日(木) コミュニティー</p> <p>出席者：本多・加藤・前川・石森・村松・井橋</p> <p>・第7章：「空の設計思想」 発表者 加藤氏、討論者 石森氏で、かなり詳しいレポートがなされたとの事です。</p> <p>次回は、5月12日(木) コミュニティー 6章(杉本氏報告)、終章(村松氏報告)、次期キストの打ち合せ 等を行なう予定です。</p>
<p>土地利用分科会</p> <p>4月15日(金) } 福井大学交通研究室 4月25日(月) }</p> <p>各章の原稿検討を行なう。また、次期の活動方針について話し合う。(次期分科会長は、沢崎(幸)氏が有力か?)</p> <p>25日は、その後、水分科会と合流、世間ばなしに花が咲きました。</p> <p>次回は、未定</p>	<p>緑分科会</p> <p>4月13日(水) 福井大学交通研究室 当日までに原稿を書き上げ、それに関して討論する予定であったが、各氏いろいろ多忙で、作業の進行が遅れ、次回へ繰り越し。</p> <p>4月16日(土) 福井大学交通研究室 作業会</p> <p>4月26日(火) 福井大学交通研究室 原稿と図面の配置割り当てが終わり、校正を行なう。</p> <p>次回は、未定</p>	<p>住分科会</p> <p>3月17日(木) 23日(水) 4月16日(土) …… 合宿 21日(木) 25日(月) 26日(火)</p> <p>原稿作成 および修正を行なう。 マウリの住分科会、今年も本領を發揮しました。</p>

福井地域環境研究会入会申込書

		申込年月日	年 月 日
氏名			生年月日
勤務先 (所属部署も記入して下さい)			
住所	勤務先	〒	TEL
	自宅	〒	TEL
希望分科会名			
地域環境について興味ある分野			
推薦者(2名)			
会員ナンバー※	№	入会年月※	年 月

(注1) ※欄は事務局記入欄ですので記入しないで下さい。

(注2) 推薦者は福井地域環境研究会の会員に限ります。

第四回総会開催される

第三期活動をしめくくり次期活動計画を討議する第四回RIF総会が、昭和58年6月18日(土)午後2時から県職員会館二〇一号室で開催された。総会司会の近藤氏の開会の辞で始まり、幹事長本多氏の新入会員の紹介、会友退会会員の報告、第三期活動報告に続き議決事項四件が提案され承認された。(以下その内容を記載)

ついで各分科会から活動報告が行なわれました。交通分科会は塚本氏が発表、水分科会は広部氏が、住分科会は高匠氏、緑分科会は杉本氏、杉原氏、土地利用分科会は天崎(幸)氏がそれぞれ発表。発表の際、スライドの上映をおこなう分科会もあり、苦心の跡のみられる発表風景でした。それ以外の報告については若葉な質疑応答がなされ、盛況のうち閉会しました。

続いて懇親会が催され、会友の岸本氏(日本情報サービ)も大阪からかけつけ、盛り上がりたひとときでした。

〔議決事項〕…全て可決しました。

- ・案件1 規約改正案
 - ・新たに副幹事長を設けることに關する改正
 - ・新たに会友制度の増設に關する改正
- ・分科会長の推薦・承認の明示に關する改正
- ・案件3 第四期役員案(敬称略)

- 顧問 五十嵐直雄・栗田幸雄・今野修平
 参事 菅永 六郎
 会長 宮田 伊太郎
 副会長 北嶋 重昭・本多 義明(幹事兼兼任)
 幹事長 本多 義明
 副幹事長 尾玉 忠(兼環境科一室・近藤幸次)
 福井 車雄(指図)
 塚本 勝典(交通分科会)
 広部 英一(水分科会)
 広田 卓哉(住分科会)
 杉本 敬一(緑分科会)
 天崎 幸夫(土地利用分科会)
 前川 政人(環境研究会)
 加藤 哲男(環境研究会・広報)
 稲葉 隆夫(研修会)
 村松 俊明(業務)
 井橋 稔(会計)
 高匠 東五郎(監査)
 浅井 俊和(広報)

第三期決算報告(案件2)

収入	
前期繰越金	110,206
会費(前期結分)	431,000
総会費	66,000
中間報告会費	48,000
寄付金	210,000
雑収入	1,257
計	866,463

第四期 予算案(案件4)

収入	
会費(前期結分)	459,000
前期総会費	140,000
計	108,762
計	707,762
支出	
分科会活動助成費	50,000
理論研究会助成費	10,000
研修会助成費	20,000
談話会助成費	40,000
総機関誌印刷費	40,000
通信費	400,000
雑費	10,000
予備	20,000
計	117,762
計	707,762

支出	
分科会活動助成費	50,000
談話会助成費	22,236
研修会助成費	20,000
報告書印刷費	450,000
総機関誌印刷費	111,130
中間報告会費	100,830
雑費	3,505
前期繰越金	108,762
計	866,463

シンガポール研修会

結団式 開かれる

シンガポール調査団の結団式が昭和58年6月9日(土)午後6時半より福井大交通研究室で行なわれました。団員紹介の後、ピミ日程、担当者決定、また、阪急交通社の木村氏によるスライドの上映が行なわれ、各団員の心はずすてにシンガポールへ…?

団員構成と役割は以下のとおり。

- 団員構成(敬称略)
- 顧問 今野 修平
 - 団長 本多 義明
 - 副団長 加藤 哲男
 - 幹事 稲葉 隆夫
 - 歩行空間調査班
 - 班長 前川 政人
 - 記録 本多 義明
 - 撮影 村本 清美
 - 日野 祐子
 - 都市環境調査班
 - 班長 近藤 幸次
 - 記録 加藤 哲男
 - 撮影 北本 久博
 - 商業空間調査班
 - 班長 村松 俊明
 - 記録 武井 幸久
 - 撮影 浅井 俊和
 - 交通システム調査班
 - 班長 松本 隆二
 - 記録 中野 孝幸
 - 撮影 川村 一治
 - YRP調査班
 - 班長 菅野 孝幸
 - 記録 深沢 又男
 - 撮影 矢野 政人
 - 松田 敏彦

第六回幹事会報告

第六回幹事会が昭和58年5月19日(木)午後6時半より、コミュニテイにおいて開かれました。出席者は、幹事長本多氏(交通分)、高匠氏(住分)、村松氏(業務)、加藤氏(談話会)、浅井君(広報代理)の5名で、以下承認決定事項を簡単に報告します。

- 一 新入会員承認(会員3名、会友2名)
- 二 総会について
 - …式次第、会場、総会通知など
- 三 規約改正
 - …副幹事長、会友、分科会長の推薦等に伴う
- 四 研修会について
 - …シンガポール都市調査団結団式6月2日
- 五 会計
 - …今後の会計運営について、色々意見が出ました。
- 六 分科会の編成と方針
 - …次期分科会への指針
- 七 新幹事の案
 - …総会報告に掲載
- 八 RIF会議室の確保
 - …詳細は本紙に掲載
- 九 RIF三号の編集報告

NEW FACE

- * 三谷 雄皓 氏 (40才)
 - 住所…福井市新田塚町901
 - TEL (0776) 24-0392
 - 勤務…三谷不動産(株)社長
- * 石森 信敏 氏 (26才) 交通分
 - 住所…福井市大宮3丁目10-21
 - TEL (0776) 21-1516
 - 勤務…福井県南越県税事務所
- * 村本 清美 嬢 (25才) 交通分
 - 住所…名古屋市北区杉村1丁目22-7
 - TEL (052) 991-8185
 - 勤務…TS交通空間研究所

— 第29回 理論研究会報告 —

5月12日 (木)

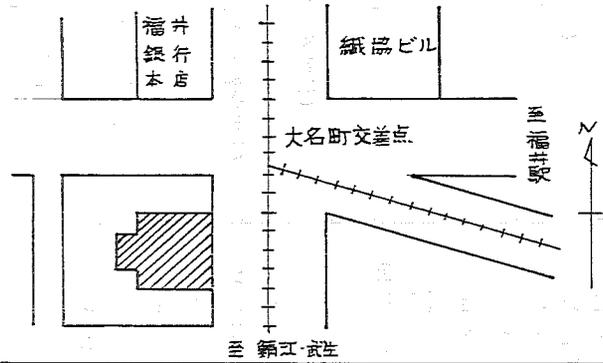
コミュニティー

- ・ 第6章 「境と心 - 物心一如」 杉本氏報告
- ・ 終章 「明日の国土造形へ向けて」 村松氏報告

今回で、第5期テキストが終了、次回からの方針を決める。そこで、第6期は理論研を2つに分け、1つを自然科学系、もうひとつを社会科学系としてそれぞれ活動する予定。今期から気分一新した本研究会へ積極的参加をお待ちしております。

REF 会議室 設置

このたび、三谷不動産(株)・北嶋工管設計・RUEのご厚意により、三谷ビル4階にREF会議室が開設されました。これにより、分科会活動、その他のREFの諸活動がより一層活発に行なわれることと思えます。会員のみなさんは、積極的に御利用下さい。尚、会議室に必要な物品(灰皿、キャビネ、いす、机等)がありましたら、持ち込んでいただければ幸いです。錠は、県港湾課児玉氏、北嶋工管設計(三谷ビル3階 TEL 27-7311)、RUE村松氏、福井大本多研究室にそれぞれ水保管されています。



分科会 だより

活動 ナシ Housing

先月の豪雪間のつかれか、今月はエネルギー蓄積月間となる。

7月攻勢を期待しております。

次回は、未定

6月30日(木) Water

福井大学交通研究室

熟年期にはいった本分科会、鉄の結束を背景に、今期は「九頭竜川総合流域管理のための基礎調査」に挑戦!!

次回には、まず水防計画や防災計画等の既存計画を把握するとの事です。

次回は、7月28日(木)

REF会議室の予定です。

活動 ナシ Traffic

5月26日の解散式以後、本分科会持ちまへのスタートラッシュのため、エネルギー蓄積中!!

今期のテーマは「高齢化社会における交通問題」

このテーマに関心のある方の積極的参加を期待するとの事です。

次回は、7月22日(金)

福井大学交通研究室の予定です

6月30日(木) Land use

福井大学交通研究室

本分科会も2期目に突入し、今年度でひとつの区切をつけることにし、それに基づく1年間の活動方針を決定。

- ・ 盛り場の定義を明確化
- ・ サービス施設の立地を経年的に把握
- ・ 他都市の遊憩空間との比較
- ・ 盛り場指標の探索

また、シンガポール商業空間調査班のメンバー全員が、本分科会員であるため、その調査内容も出席者で検討。

次回は、8月25日(木) REF会議室の予定です。

活動 ナシ Green

分科会としては、原稿作成後、これといった活動は行なっておらず、現在は次期活動に向けて充電中!!

次回は、7月11日(月)

福井大学交通研究室の予定です。

シンガポール都市調査団

無事帰国

昭和五八年八月九日(火)〜一三日(土)の五日間シンガポール都市調査が、行なわれました。
今回の調査団は、総勢一九名(YRP五名を含む)という多数の参加者のため、五つの調査班に分けて、各々調査を行いました。以下、その調査内容を紹介します。

○歩行空間調査班 (前川、本多、村本、日比野)

調査目的：シンガポールにおける歩行者空間とその利用実態
調査テーマ：オーチャードST.の歩行者空間の平面形態、横断面構成の実測による

○都市環境調査班 (近藤、加藤、稲葉、北本)

調査目的：シンガポールの景観分析
調査テーマ：都市環境の実情の調査、我が国の都市景観の改善への参考資料とする。

○商業空間調査班 (村松、武井、浅井)

調査目的：シンガポール中心部における商業系サービスの実態調査
調査テーマ：中心的商業空間を対象とする商業系サービスの実態、現状の把握。

○交通システム調査班 (松本、中野、川村)

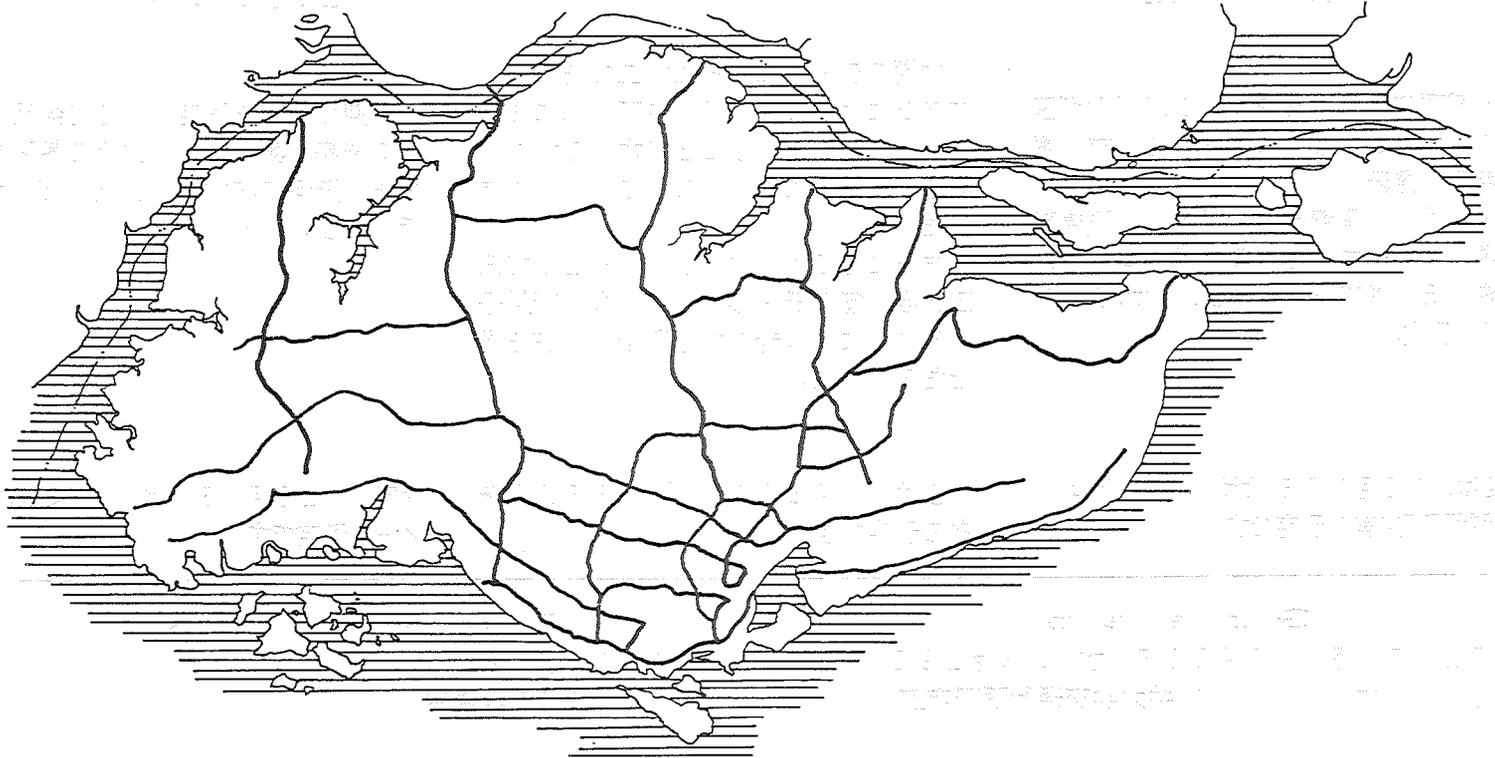
調査目的：RESTRICTED ZONEシステムの調査
調査テーマ：シンガポールにおける都市部交通管理システムの調査

○YRP調査班 (曾雄、深沢、矢崎、滝口、松田)

調査目的：都市計画面からみた「シンガポールらしさ」の表現、保存形態の調査

また、REF顧問今野修平先生、YRP花岡利幸先生等の厚意により、チャンギ国際空港、シンガポール港湾局、都市再開発公団見学等も行われ、貴重な資料の収集、説明を受けることが出来ました。紙面を借りまして関係諸氏にお礼申し上げます。

MALAYSIA



シンガポール概念図

第一回幹事会のお知らせ

日時：昭和五八年九月二日(水)午後六時

場所：福井大学交通計画研究室

理論研究会

参加者大募集

第30回理論研究会を昭和58年9月21日(水)PM6時30分より、福井大学交通計画研究室において開きます。本研究会も6次にはいり、前号でもお知らせしたように、今期から自然科学系と社会科学系とに分け各々独自の活動を行なうこととなりました。興味ある方の積極的参加をお待ちしております。

シンガポール都市調査団
解団式のお知らせ

日時：昭和五八年一〇月六日(木)午後六時

場所：福井大学交通計画研究室

分科会だより

T r a f f i c

7月22日(木)
福井大学交通計画研究室

今期研究の目次を決定。1章「我が国における高齢化社会の実態」を、村本嬢、杉森氏が発表。
今回は、「国際比較」「老人の法律諸問題」「テーマにおける文献収集」等を前川氏、杉森氏、本多氏、山本氏が発表の予定。

次回は、10月13日(木) 福井大学交通計画研究室の予定です。

W a t e r

9月9日(金)
REF会議室

本期のテーマにそった章立てを行い、広部氏による「九頭竜川中下流部における洪水追跡」ということで本川の水位、流速、流量等についての報告がなされました。
またこの日は、オブザーバーとしてREF会長富田氏も参加され、また新鋭丹原氏加入により老舗水分科会、健在を見せた日でした。

次回は、9月30日(金) REF会議室の予定です。

H o u s i n g

7月12日(金)
9月8日(木)
コミュニティー

本期の課題を設定し、町内会組織に関する資料収集、町内会文献の輪読を行い、また、資料収集方法、分担などについて話しあう。

次回は、10月4日(火) コミュニティーの予定です。

G r e e n

7月11日(月)、7月20日(水)、8月19日(金)
9月1日(木) 福井大学交通計画研究室

緑分科会は、新たな戦力として三和測量の中田氏が加わり、メンバーは合計8人となり、REFで、最大派閥となった。
まず、第1回、第2回の分科会においては、「足羽山の利用実態」について調査することに決定した。
第3回では、調査内容を決定する予定であったが、図面等の準備ができておらず、次回に持ち込むことになった。

次回は、9月13日(火) 福井大学交通計画研究室の予定です。

L a n d U s e

8月25日(木)
REF会議室

シンガポール商業空間調査班の現地調査結果の概要を報告。
次に、今期の研究活動の章だて並びに分担を行う。

次回は、10月13日(木) REF会議室の予定です。